

2011年9月8日

各 位

早稲田大学 広報室
住所 東京都新宿区戸塚町 1-104
電話 03-3202-5454

中外製薬株式会社 広報 IR 部
住所 東京都中央区日本橋室町 2-1-1
電話 03-3273-0881

早稲田大学における中外製薬の寄附講座開設について ～日本人の死因第一位である『がん』に焦点をあて講義を実施～

学校法人早稲田大学〔本部：東京都新宿区／総長：鎌田 薫〕（以下、早稲田大学）および中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）は、2011年9月より、医療（特にがん）を自らの事として捉え考えることを通じて主体性を育み、これからのキャリアをも考える機会を提供することを目的として、早稲田大学に寄附講座を開設することとなりましたのでお知らせします。

本講座では、日本の医療（保険）制度を紹介し、医療問題として日本人の死因第一位である『がん』に焦点をあて講義を進めます。講義は臨床医や研究者から、日本のがん医療の現状と課題や倫理観について語って頂くほか、証券アナリスト並びに実際に業務に携わる企業の社員（研究者・MR）から、がん治療に挑む製薬企業の取り組みについて語って頂く内容となります。

早稲田大学の講座統括責任者である土方正夫（社会科学総合科学学術院 教授）は、「医学部を持たない早稲田大学で、現代医学の最先端医療のみならず、医薬の世界までを学際的立場から総合的に学ぶことが出来る講座を設置できたことは大きな意義のあることだと思います。入門的な講座ではありますが、現場第一線で、世界的にも活躍されている先生方が分かり易く要点をお話し頂けるので、医薬の世界に関心を持っている学生にとっては、自らの専門分野との接点を見いだすまたとない良い機会になると思います」と述べています。

中外製薬 CSR 推進部長の佐藤篤史は、「当社の社会貢献活動の一環として本講座を開設いたします。日本のがん医療をリードしている製薬企業として、今後益々必要とされる医療人材の育成に貢献できることは大変喜ばしいことです」と述べています。

寄附講座の概要

1. 大学名 : 早稲田大学
2. 講座名 : 「現代医療最前線への挑戦」
3. 設置期間 : 2011年秋学期（2011年9月～2012年1月）
4. 形式 : オープン教育センター実施科目としてオムニバス形式で実施
5. 受講者 : 全学部生 150名程度
6. 使用言語 : 日本語

<問い合わせ先>

早稲田大学	広報室広報課	03-3202-5454
中外製薬株式会社	広報 IR 部	03-3273-0881